プレイタイム（1967）

PLAYTIME

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 125分
初公開日 1969/06/14
公開情報 松竹映配

【解説】

なんと７０ｍｍで製作された、タチの風刺コメディの大作で、ここでも彼は定番のキャラクター、大会社就職のためパリに登場するというおのぼりさんという設定の、ユロ氏に扮する。開巻、オルリー空港のさんざめきを見事に捉え、カメラはパリの街へ。ところが、なじみ深い古き良き町並みはすべて近代的ビルディングのガラスに反映されるという描写で、早速、得意のモダニズム批判をさらりと一節。そのビルの一つを、面接のために訪れるユロ氏だが、なかなか当の相手に会えないーーというすれ違いギャグが本篇の白眉であろう。その後は、アメリカ観光団の女性（Ｂ・デネック）の挿話と並行に展開する構成のせいもあり、いつもの淡々とスケッチ的な笑いをつみ重ねていき、余韻嫋嫋たる雰囲気を生む彼のタッチがあまり活きず、個々のギャグにもくどさが目立つ。しかし、整理されきらぬこの二重構造も最後にはやんわりと落ち着いて、ラストの情景描写の味わい深さはいつもと変わらない。

【クレジット】

監督	ジャック・タチ	Jacques Tati
脚本	ジャック・タチ	Jacques Tati
撮影	ジャン・バダル	Jean Badal
	アンドレア・ウィンディング	Andréas Winding
出演	ジャック・タチ	Jacques Tati
	バーバラ・デネック	
	ジャクリーヌ・ル・コンテ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.